

近畿厚生局長 殿

開設者名 学校法人 大阪
理事長 植木

印

大阪医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	94人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

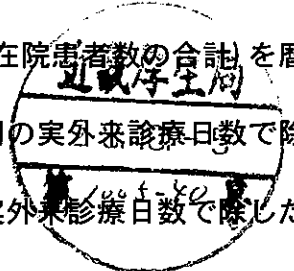
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	489人	189人	525.9人	看護補助者	83人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	13人	15.6人	理学療法士	23人	臨床検査技師	68人
薬剤師	46人	8人	50.7人	作業療法士	9人	臨床検査衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	17人	3人	18.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	759人	21人	776.3人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	4人
准看護師	7人	2人	8.6人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	132人
管理栄養士	17人	2人	18.8人	診療放射線技師	44人	その他の職員	108人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	693.5人	5.4人	698.9人
1日当たり平均外来患者数	1,911.5人	94.5人	2,006.1人
1日当たり平均調剤数	入院 762.6、外来 295.9、合計 1058.5		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法)	2人
色素性乾皮症の遺伝子診断	5人
マイクロ波子宮内膜アブレーション	2人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	8人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	36人	・膿疱性乾癬	0人
・多発性硬化症	47人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	65人	・原発性胆汁性肝硬変	26人
・全身性エリテマトーデス	239人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	4人
・再生不良性貧血	24人	・混合性結合組織病	28人
・サルコイドーシス	40人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	28人	・特発性間質性肺炎	5人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	172人	・網膜色素変性症	64人
・特発性血小板減少性紫斑病	43人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	35人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	226人	・神経線維腫症	2人
・大動脈炎症候群	14人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・デュルガー病	11人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	0人
・天疱瘡	6人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	35人	・ライゾーム病	2人
・クローン病	102人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	6人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	96人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	3人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・後縦靭帯骨化症	30人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	13人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	42人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	5人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	21人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・膀胱水圧拡張術	・
・腹腔鏡下肝切除術	・
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に10回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 27 例 / 部検率 7.87%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
多施設共同研究：劇症1型糖尿病の診断マーカー同定と診断基準確立	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	15,000,000	補委 厚労科研費
日本人1型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	15,000,000	補委 国際医療研究開発費
日本人における新生児糖尿病発症原因遺伝子異常の実態把握および遺伝子変異部位による薬効変化に関する検討	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	500,000	補委 厚労科研費
モデルマウスを用いた劇症1型糖尿病治療法の開発	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	900,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C
劇症1型糖尿病患者血清の蛋白質間相互作用解析を用いた新規インスリン様分子の同定	寺前純吾	糖尿病代謝・内分泌内科	800,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C
間質性肺炎合併皮膚炎における疾患関連マーカー蛋白の定量プロテオミクスによる探索	武内徹	膠原病内科	700,000	補委 科学研究費補助金基盤C
新型インフルエンザH1N1の病態把握と重症化の解明に関する研究	浮村聡	総合内科	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
エンテロウイルス感染マーカーとしてのMDA-5発現に関する研究	浮村聡	総合内科	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
統合失調症と感情障害の中間型に対する疫学調査	康純	精神神経科	1,000,000	補委 科学研究費補助金基盤C
膵臓癌細胞由来膜/核内タンパク質-自己抗体結合体を標的とした膵臓癌特異抗原の検索	宮本好晴	消化器外科	1,100,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C
外科医教育のためのe-learning用内視鏡外科教材Websurgの充実と発展	谷川允彦	消化器外科	500,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C
プロテオミクスを用いた大腸癌特異抗原結合自己抗体同定による新規診断マーカーの開発	藤田能久	消化器外科	800,000	補委 科学研究費補助金若手研究B
消化器腫瘍におけるmicroRNAの発現異常と発癌への関与についての検討	高城武嗣	消化器外科	1,400,000	補委 科学研究費補助金若手研究B
治癒切除後の再発リスクが高い進行胃がん(スキルス胃がんなど)に対する標準的治療の確立に関する研究	谷川允彦	消化器外科	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	勝間田敬弘 (分担研究者)	心臓血管外科	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ラットでの大動脈弁狭窄症術後肥大心筋の治癒過程の研究：エプレソロン投与は有効か？	小澤英樹	心臓血管外科	800,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C
大動脈術後の脳障害関連遺伝子スクリーニングと指標となる脳障害血清タンパクの検索	三重野繁敏	心臓血管外科	1,500,000	補委 科学研究費補助金若手B
ラットを用いた肺高血圧に対する新しい薬物治療アプローチ	根本慎太郎	心臓血管外科	1,100,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
5-ALAと自家蛍光の二重蛍光スペクトル解析による高精度脳腫瘍同定方法の開発	黒岩敏彦	脳神経外科	1,300,000	③補委 科学研究費補助金基盤研究C
癌細胞選択的破壊による革新的浸潤癌膀胱温存治療「硼素膀胱局所動注中性子捕捉療法」	宮武伸一	脳神経外科	300,000	③補委 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究(分担者)
蛋白質セラピー法と中性子捕捉療法による難知性がん治療法開発	宮武伸一	脳神経外科	2,000,000	③補委 厚生労働科学研究費補助金(分担者)
加速器中性子源による癌中性子捕捉療法の高度化に関する研究	宮武伸一	脳神経外科	3,735,021	③補委 原子力基礎基盤研究委託事業(分担者)
中性子捕捉療法及び光線力学的治療双方に利用可能な新規硼素化ポルフィリンの有用性	川端信司	脳神経外科	910,000	③補委 科学研究費補助金基盤研究C
蛋白質導入法の移植・再生医療ならびに脳腫瘍治療への応用を目指した基盤研究	川端信司	脳神経外科	3,000,000	③補委 武田科学振興財団特定研究助成金(分担者)
悪性脳腫瘍術中蛍光診断の蛍光メカニズム解析と神経膠腫幹細胞への光線力学療法の応用	池田直廉	脳神経外科	1,690,000	③補委 科学研究費補助金若手研究B
がん細胞をターゲットにした光線力学療法および化学療法の開発	井上洋人	脳神経外科	2,080,000	③補委 科学研究費補助金若手研究B
脱シアロ化短半減期エリスロポイエチン誘導体を用いた中枢神経再生治療法の開発	三木義仁	脳神経外科	650,000	③補委 科学研究費補助金若手研究B
PETを用いた難治性中枢神経腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の新規適応の可能性	宮田至郎	脳神経外科	1,235,000	③補委 科学研究費補助金若手研究スタートアップ
脳腫瘍治療後の病態解析における ¹⁸ F-BPA-PETの有用性に関する研究	嶽北葉子	脳神経外科	2,340,000	③補委 科学研究費補助金若手研究B
生体吸収性を有し優れた生体内多孔体化多用途人工骨	傍島聰	整形外科	4,400,000	③補委 独立行政法人科学技術振興機構
肩インピンジメント：肩甲上腕リズムの生体力学的解析に基づく新しい治療法の開発	三幡輝久	整形外科	400,000	③補委 科学研究費補助金若手研究B
関節軟骨維持におけるヘパラン脱硫酸酵素(Sulf)の役割	大槻周平	整形外科	1,110,000	③補委 独立行政法人日本学術振興会
発達障害児における不器用の神経基盤の解明：脳機能画像による疾患別の量的・質的検討	柏木充	一般小児科	600,000	③補委 科学研究費補助金基盤C
母乳分泌における脂質濃度調節機構の解析	瀧谷公隆	一般小児科	800,000	③補委 科学研究費補助金基盤C
難治性急性前骨髄性白血病における新規レチノイド化合物の分化誘導機構の解明	井上彰子	一般小児科	800,000	③補委 科学研究費補助金基盤C
顆粒膜細胞におけるミトコンドリアDNA欠損が卵発育障害をおこすメカニズムの検討	山下能毅	産科内分泌科	900,000	③補委 科学研究費補助金基盤C
子宮内膜癌に対するMPAの分子標的治療薬としての機能解析とその制御の検討	金村昌徳	婦人科腫瘍科	1,000,000	③補委 科学研究費補助金基盤C

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
癌幹細胞をターゲットとした卵巣癌の白金製剤耐性機構の解明とその制御	田辺晃子	産科内分泌科	1,000,000	⑩補委 科学研究費補助金基盤C
癌幹細胞をターゲットとした子宮内膜癌の浸潤・転移制御と分子標的治療への応用	寺井義人	婦人科腫瘍科	1,500,000	⑩補委 科学研究費補助金基盤C
高分子ミセルを用いた卵巣癌の癌幹細胞に対する標的治療の開発	大道正英	産婦人科	1,600,000	⑩補委 科学研究費補助金挑戦的萌芽
プロモーターマイクロアレイを用いたトポタンの新たな分子標的作用の解析	佐々木浩	婦人科腫瘍科	1,000,000	⑩補委 科学研究費補助金若手B
顆粒膜細胞におけるアンドロゲンレセプター発現は卵胞発育に重要か?	林篤史	産科内分泌科	1,500,000	⑩補委 科学研究費補助金若手B
糖尿病網膜症の硝子体中コラーゲンに対する自己免疫反応と病態との関連	池田恒彦	眼科	1,100,000	⑩補委 科学研究補助金基盤研究(C)
活性化グリア細胞を介した網膜傷害に対するスタチンの抑制効果の検討	奥英弘	眼科	1,200,000	⑩補委 科学研究補助金基盤研究(C)
緑内障モデルにおけるP2X7受容体活性化と網膜神経節細胞障害の関連性	杉山哲也	眼科	1,300,000	⑩補委 科学研究補助金基盤研究(C)
低酸素状態における一酸化窒素(NO)の網膜神経細胞への作用	奥英弘	眼科	410,000	⑩補委 財団法人 大阪アイバンク
頭頸部扁平上皮癌におけるプロスタグランジン受容体の解析とその臨床的意義	河田了	耳鼻咽喉科	1,600,000	⑩補委 科学研究補助金基盤研究C
蝸牛虚血再灌流時における内リンパカルシウムイオンの役割	森京子	耳鼻咽喉科	800,000	⑩補委 科学研究補助金若手研究B
スギ花粉抗体原特異的IgE産生に関与する細胞・分子の同定	金沢敦子	耳鼻咽喉科	1,200,000	⑩補委 科学研究補助金若手研究B
新しい虚血灌流動物を用いた、内耳虚血の高圧酸素、エダラポン同時投与の治療効果	乾崇樹	耳鼻咽喉科	2,100,000	⑩補委 科学研究補助金若手研究B
可視光の皮膚アンチエイジング効果に関する基礎的研究～DNA修復能に着目して	森脇真一	皮膚科	1,300,000	⑩補委 科学研究補助金基盤研究C
神経皮膚症候群に関する調査研究	森脇真一	皮膚科	1,000,000	⑩補委 厚生労働省
コケイン症候群の病態解明および治療とケアの指針作成のための研究班	森脇真一	皮膚科	2,000,000	⑩補委 厚生労働省
Tregバンク(CD28SA+肝細胞共培養)免疫寛容+MF1導入:移植腎永久生着	東治人	泌尿器科	2,600,000	⑩補委 科学研究費補助金基盤研究B
癌細胞選択的破壊による革新的浸潤癌膀胱温存治療「硼素膀胱局所動注中性子捕捉療法」	東治人	泌尿器科	1,400,000	⑩補委 科学研究費補助金萌芽研究
70活性化マクロファージによる70移植細胞拒絶機構の解析	能見勇人	泌尿器科	800,000	⑩補委 科学研究費補助金若手研究B

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
小胞体ストレス促進を利用した進行性腎癌治療	稲元輝生	泌尿器科	1,100,000	補委 科学研究費補助金若手研究B	
局所浸潤性膀胱癌に対する放射線療法併用バルーン塞栓動脈内抗癌剤投与 (BOAI) 療法の有用性に関する多施設共同比較試験	東治人	泌尿器科	500,000	補委 財団法人日本ワックスマン財団 多施設共同臨床研究助成金	
好中球エラストラーゼ阻害剤による致死的放射線肺障害の防止に関する実験的研究	猪俣泰典 高橋正嗣	放射線科	1,300,000	補委 科学研究費補助金基盤研究C	
新規な神経障害性疼痛治療薬の合成技術の開発とその初期安全性の評価	南敏明	麻酔科	949,000	補委 A-STEP (FS) 科学技術振興機構 (JST)	
アクロメリン酸誘導体を用いた神経障害性疼痛治療薬の開発と痛みの定量化	南敏明	麻酔科	1,690,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究C	
皮内での腫瘍細胞の増殖と拒絶を制御する免疫細胞と因子による新しい癌根治療法の開発	井畑峰紀	形成外科	1,100,000	補委 科学研究費補助金若手研究B	
テネイシンWの頭蓋冠縫合における働き	三倉文子	形成外科	1,000,000	補委 科学研究費補助金若手研究B	
顔面外傷後の神経因性疼痛に対するSSRI治療効果メカニズムの解明	大場創介	形成外科	1,200,000	補委 科学研究費補助金基盤C	
マイクロRNAを指標とした術後慢性疼痛の解明	中井國博	形成外科	1,800,000	補委 科学研究費補助金基盤C	
口腔癌患者における硼素中性子捕捉療法 (BNCT) の臨床効果に関する研究	木村吉宏	口腔外科	1,000,000	補委 科学研究補助金若手研究B	
頭頸部癌へのBNCTにトランスフェリン結合型硼素化合物運搬体を応用した基礎研究	伊藤雄一	口腔外科	1,500,000	補委 科学研究補助金若手研究B	
切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療に関する研究	瀧内比呂也	化学療法センター	1,000,000	補委 厚生労働科学研究費補助金	
がんの腹膜播種に対する標準的治療の確立に関する研究	瀧内比呂也	化学療法センター	500,000	補委 厚生労働科学研究費補助金	
大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬：牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験 (臨床第Ⅲ相試験)	瀧内比呂也	化学療法センター	200,000	補委 厚生労働科学研究費補助金	小計 15
がんの集学的治療の早期開発の研究体制確立	瀧内比呂也	化学療法センター	1,500,000	補委 独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発研究事業	計 71

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun. 2011;404(3):756-61.	Exenatide, a glucagon-like peptide-1 receptor agonist, suppresses pancreatic beta-cell destruction induced by encephalomyocarditis virus.	Sano H	糖尿病代謝・内分泌内科
J Diabetes Invest 2010;1(6):283-285.	Endogenous insulin secretion even at a very low level contributes to the stability of blood glucose control in fulminant type 1 diabetes.	Shibasaki S	糖尿病代謝・内分泌内科
Endocr J. 2010 Apr 2;57(3):211-9.	Expression of toll-like receptors in the pancreas of recent-onset fulminant type 1 diabetes.	Shibasaki S	糖尿病代謝・内分泌内科
J Gastroenterol Hepatol Suppl 2010; 155-160	Sofalcone a gastroprotective drug, promotes gastric ulcer healing following eradication therapy for Helicobacter pylori; a randomized controlled comparative trial with cimetidine, an H2-receptor antagonist	Higuchi K	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol 2010; 25(1): 70-74	Usefulness of polyethylene glycol solution with dimethylpolysiloxanes for bowel preparation before capsule endoscopy	Nouda S	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol Suppl 2010; 149-154	Colonoscopic differences of erosive and/or small ulcerative lesions for diagnosis of colonic inflammatory diseases	Inoue T	消化器内科
J Clinl Biochem Netr 2010; 47: 37-44	Evaluation of portal hypertensive enteropathy by scoring with capsule endoscopy: is transient elastography of clinical impact?	Abdelaal UM	消化器内科
Gastrointestinal Endosc 2010; 72(4): 836-840	In vitro trial of a drivig system for a self-propelling capsule endoscope using a magnetic field (with video)	Morita E	消化器内科
胃と腸2010; 45(10): 1689-1695	Crohn病におけるカプセル内視鏡の役割—小腸X線造影とLewis scoreを用いた検討	森田 英次郎	消化器内科
Int J Cardiol 145:270- 272, 2010.	Connexin 43 expression is associated with vascular activation in human radial artery.	Arishiro K	循環器内科
Heart and Vessels. 2010 Nov; 25(6): 453- 459	Treatment effects of renin-angiotensin system inhibitor and calcium channel blocker in patients with coronary artery narrowing (from the Japanese Coronary Artery Disease Study).	Fujita M	循環器内科
J Atheroscler Thromb 17:705-711, 2010	Switching to aggressive statin improves vascular endothelial function in patients with stable coronary artery disease.	Hoshiga M	循環器内科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Intern Med. 2010; 49 (22): 2461-2465	Rapidly progressive aneurysm of infected thoracic aorta with pseudoaneurysm formation.	Imori A	循環器内科
Hypertens Res · 33 · 579-586, 2010	Pitavastatin reduces oxidative stress and attenuates intermittent hypoxia-induced left ventricular remodeling in lean mice.	Inamoto S	循環器内科
Internal Med. 2010; 49 (8): 749-751	A sinus of valsalva - right atrium fistula without aneurysm formation.	Kanzaki Y	循環器内科
Circulation. 2010 Nov; 122 (19): 1973-1974	Three-dimensional architecture of cardiomyocytes and connective tissue in human heart revealed by scanning electron microscopy.	Kanzaki Y	循環器内科
Circ J. 2010 Apr; 74: 741-748	Enhanced expression of the S100A8/A9 complex in acute myocardial infarction patients	Katashima T	循環器内科
J Pharmacol Sci. 2010; 113 (4): 343-352	Thiamine ameliorates diabetes-induced inhibition of pyruvate dehydrogenase (PDH) in rat heart mitochondria: investigating the discrepancy between PDH activity and PDH E1alpha phosphorylation in cardiac fibroblasts exposed to high glucose.	Kohda Y	循環器内科
J Pharmacol Sci 114 (1): 32-40, 2010	Effects of Acarbose on the Acceleration of Postprandial Hyperglycemia-Induced Pathological Changes Induced by Intermittent Hypoxia in Lean Mice.	Masatoshi M	循環器内科
Int J Cardiol 144:114-115, 2010.	Multiple channel appearance with low-echoic divisions detected by intravascular ultrasound image in acute myocardial infarction with antiphospholipid syndrome.	Miyamoto H	循環器内科
Heart and Vessels. 2010 Nov; 25 (6): 474-484	Enhanced expression of the ubiquitin-proteasome system in the myocardium from patients with dilated cardiomyopathy referred for left ventriculoplasty: An immunohistochemical study with special reference to oxidative stress.	Otsuka K	循環器内科
J Nutr Sci Vitaminol. 2010; 56 (6): 335-346	Thiamine prevents obesity and obesity-associated metabolic disorders in OLETF rats.	Tanaka T	循環器内科
Circulation. 2010 Aug; 122 (9): 891-899	Anderson ME, Inoue M, Yao A, Nagai R, Kitaura Y, Sasaguri T, Komuro I. Ca2+/Calmodulin-Dependent Kinase II (delta) Causes Heart Failure by Accumulation of p53 in Dilated Cardiomyopathy.	Toko H	循環器内科
J Mol Cell Cardiol. 2010 Jul; 49 (1): 113-120	ATF6 is important under both pathological and physiological states in the heart.	Toko H	循環器内科
Ther Drug Monit · 32 · 774-777, 2010	Interference between eplerenone and digoxin in FPIA, MEIA, and ACMA.	Yamada T	循環器内科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Atheroscler Thromb 17 (5) :476-485, 2010.	Association between gamma-glutamyltransferase levels and insulin resistance according to alcohol consumption and number of cigarettes smoked.	Ishizaka N	循環器内科
J Atheroscler Thromb 17 (8) :889-890, 2010.	The observation that risk increases according to the number of components does not necessarily indicate that each component is a risk factor.	Ishizaka N	循環器内科
J Pharmacol Sci 114 (1) :32-40, 2010.	Effects of acarbose on the acceleration of postprandial hyperglycemia-induced pathological changes induced by intermittent hypoxia in lean mice.	Miyamura M	循環器内科
Circulation. 122 (19) :1973-1974, 2010.	Three-dimensional architecture of cardiomyocytes and connective tissue in human heart revealed by scanning electron microscopy.	Kanzaki Y	循環器内科
Echocardiography 2011 Mar;28 (3) :369	Aortic tumor or mobile thrombus: detection by multislice computed tomography.	Murai M	循環器内科
臨床透析	エリスロポエチン製剤皮下投与時の疼痛比較—エポエチンアルファ・エポエチンベータの比較	井上徹	腎臓内科・血液浄化センター
最新医学	Doripenemの血液透析中薬物動態試験	井上徹	腎臓内科・血液浄化センター
Intern Med. 2010; 49 (22) :2461-5. Epub 2010 Nov 15	Rapidly progressing aneurysm of infected thoracic aorta with pseudoaneurysm formation.	Iimori A Ukimura A	総・合 内 科 心 臓 血 管 外 科 循 環 器 内 科
Circ J. 2010 Oct; 74 (10) :2193-9. Epub 2010 Aug 6	A national survey on myocarditis associated with the 2009 influenza A (H1N1) pandemic in Japan.	Ukimura A	総合内科
Urology. 2011 Jan;77 (1) :249. e9- 15. Epub 2010 Nov 11	Inhibitory effects of T/L-type calcium channel blockers on tubulointerstitial fibrosis in obstructed kidneys in rats.	Matsuda H Ukimura A Kitaura Y	腎 臓 内 科 総 合 内 科 循 環 器 内 科
J Pharmacol Sci. 2010 Sep 16; 114 (1) :32- 40. Epub 2010 Aug 10	Effects of acarbose on the acceleration of postprandial hyperglycemia-induced pathological changes induced by intermittent hypoxia in lean mice.	Miyamura M Ukimura A Hayashi T	循 環 器 内 科 総 合 内 科
Hypertens Res. 2010 Jun;33 (6) :579-86. Epub 2010 Mar 19.	Pitavastatin reduces oxidative stress and attenuates intermittent hypoxia-induced left ventricular remodeling in lean mice.	Inamoto S, Ukimura A, Hayashi T.	循 環 器 内 科 総 合 内 科
International Surgery	Optimal Timing for Removal of Abdominal Drainage After Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma	M. Hayashi	消化器外科
Oncology Reports	Proteomics-based identification of a tumor-associated antigen and its corresponding autoantibody in gastric cancer	S. Tsunemi	消化器外科
Gene	HLA-B62 as a possible ligand for the human homologue of mouse macrophage MHC receptor 2 (MMR2) on monocytes	T. Shimizu	消化器外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Transplantation	Acute Graft-Versus-Host Disease After Living Donor Liver Transplantation With Donor-Dominant One-Way Human Leukocyte Antigen Matching at Two Loci	T. Shimizu	消化器外科
World Journal of Gastrointestinal Surgery	NOTES:The question for minimal resection and sentinel node in early gastric cancer	M. Asakuma	消化器外科
Experimental and Therapeutic Medicine	Usefulness of intraoperative touch smear cytology in breast-conserving surgery	K. Sumiyoshi	一般・乳腺内分泌外科
World Journal of Surgery	Current State of Gastric Stump Carcinomas in Japan:Based on the Results of a Nationwide Survey	N. Tanigawa	消化器外科
Surgical Endoscopy	Intracorporeal stapled anastomosis following laparoscopic segmental gastrectomy for gastric cancer: technical report and surgical outcomes	S. W. Lee	消化器外科
Journal of the American College of Surgeons	Long-Term Oncologic Outcomes from Laparoscopic Gastrectomy for Gastric Cancer:A Single-Center Experience of 601 Consecutive Resections	S. W. Lee	消化器外科
BMC Surgery	Clinicopathological analysis of recurrence patterns and prognostic factors for survival after hepatectomy for colorectal liver metastasis	M. Hayashi	消化器外科
Breast Cancer	High-resolution MR lymphography using ultrasmall superparamagnetic iron oxide (USPIO) in the evaluation of axillary lymph nodes in patients with early stage breast cancer: preliminary results	K. Kimura	一般・乳腺内分泌外科
International Surgery	Clinical Risk Factors for Postoperative Bile Leakage After Liver Resection	M. Hayashi	消化器外科
World Journal of Surgery	Effectiveness of a Surgical Glove Port for Single Port Surgery	M. Hayashi	消化器外科
International Journal of Oncology	Comparative proteomic analysis of the ribosomes in 5-fluorouracil resistance of a human colon cancer cell line using the radical-free and highly reducing method of two-dimensional polyacrylamide gel electrophoresis	K. Kimura	一般・乳腺内分泌外科
Bulletin of the Osaka Medical College	Proteomic Analysis Regarding Resistance to Anticancer Drugs Using a 5-Fluorouracil-Resistant Human Gastric Cancer Cell Line and The Radical-Free and Highly Reducing Method of Two-Dimensional Electrophoresis	A. Ogata	消化器外科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Bulletin of the Osaka Medical College	Differential Display of the Basic Protein in 5-fluorouracil Resistance of Human Colon Cancer Cell Line Using the Radical-free and Highly Reducing Method of Two-dimensional Polyacrylamide Gel Electrophoresis	H. Fushitani	消化器外科
Bulletin of the Osaka Medical College	An Investigation of the Expression of Epigenetic-Related Genes in Gastric Cancer	H. Watanabe	消化器外科
International Surgery	Simultaneous laparoscopic resection of colorectal cancer and synchronous metastatic liver tumor	M. Hayashi	消化器外科
Hepato-Gastroenterology	Small Skin Incision Left-Side Hepatectomy	F. Hirokawa	消化器外科
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Ascending aortic injury caused by a fractured sternal wire 28 years after surgical intervention of pectus excavatum	三重野 繁敏	心臓血管外科
Bio-Medical Materials and Engineering	Blood compatibility of the adsorptive device filled with poly arylate beads.	Asano T	脳神経外科
Neurol Res.	Asialoerythropoietin attenuates neuronal cell death in the hippocampal CA1 region after transient forebrain ischemia in a gerbil model.	Yamashita T	脳神経外科
Lasers Surg Med.	Application of a novel boronated porphyrin (H2OCP) as a dual sensitizer for both PDT and BNCT.	Hiramatsu R	脳神経外科
Applied Radiation and Isotopes	Phase II clinical study of boron neutron capture therapy combined with X-ray radiotherapy/temozolomide in patients with newly diagnosed glioblastoma multiforme-Study design and current status report.	Kawabata S	脳神経外科
The American Journal of Sports Medicine 38	Excessive Glenohumeral Horizontal Abduction as Occurs During the Late Cocking Phase of the Throwing Motion Can Be Critical for Internal Impingement	Mihata T	整形外科
JOURNAL OF ORTHOPAEDIC RESEARCH	Tissue neogenesis and STRO-1 expression in immature and mature articular cartilage.	Otsuki S	整形外科
Proceedings of the National Academy of Sciences of the USA	Extracellular sulfatases support cartilage homeostasis by regulating BMP and FGF signaling pathways.	Otsuki S	整形外科
小児の精神と神経, 2010, 50: 163-170	発達性読み書き障害児におけるひらがな単音読みの特性-音読反応時間と誤読数の音種別比較	松尾育子	一般小児科
Brain Dev, 2010, 32: 681-684	Prolonged left homonymous hemianopsia associated with migraine-like attacks in a child with Sturge-Weber syndrome	Shimakawa S	一般小児科

小計

14

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Ther Drug Monit. 2010. 32:774-777	Interference between eplerenone and digoxin in fluorescence polarization immunoassay, microparticle enzyme immunoassay, and affinity column-mediated immunoassay	Yamada T	一般小児科
Nutrition Cancer, 2011, 63 (5) :763-770	Induction of apoptosis by g-tocotrienol in human cancer cell lines and leukemic blasts from patients: dependency on Bid, cytochrome c and caspase pathway	Inoue A	一般小児科
Acta Paediatr 2011 Mar:100 (3) :466-8	X-linked agammaglobulinemia complicated with endobronchial tuberculosis	Kawakami C	一般小児科
Pediatr Hematol Oncol. 2011 Feb 28 (2) :147-9	Acute monocytic leukemia blasts with cuplike nuclear morphology: a case report	Kawakami C	一般小児科
肥満研究, 2011;17 (1) :49-53	小児期の血流依存性血管拡張反応に関する測定方法の標準化と基準値の検討	高谷竜三	発達小児科
Cancer Biol Ther. 2010 Dec 1;10 (11) :1137-46.	Topotecan as a molecular targeting agent which blocks the Akt and VEGF cascade in platinum-resistant ovarian cancers.	Tsunetoh S	婦人科腫瘍科
J Endocrinol. 2010 Jul;206 (1) :131-40.	Role of extracellular signal-regulated kinase and AKT cascades in regulating hypoxia-induced angiogenic factors produced by a trophoblast-derived cell line.	Fujita D	産科内分泌科
Fertil Steril. 2010 Dec;94 (7) :2708-9.	Mature cystic teratoma of the fallopian tube.	Fujiwara S	婦人科腫瘍科
Mol Cancer Ther. 2010 Aug;9 (8) :2411-22.	Vascular endothelial growth factor is a promising therapeutic target for the treatment of clear cell carcinoma of the ovary.	Ohmichi M	産婦人科
Int J Clin Oncol. 2010 Dec;15 (6) :531-42.	Evidence-based guidelines for treatment of uterine body neoplasm in Japan: Japan Society of Gynecologic Oncology (JSGO) 2009 edition.	Ohmichi M	産婦人科
BMC Cancer. 2010 Oct 19;10:566.	Raloxifene inhibits tumor growth and lymph node metastasis in a xenograft model of metastatic mammary cancer.	Ohmichi M	産婦人科
2010 Sep;84 (18) :9546-56.	Remarkable lethal G-to-A mutations in vif-proficient HIV-1 provirus by individual APOBEC3 proteins in humanized mice.	Ohmichi M	産婦人科
IOVS 2010;51 (5) :2575-86.	Effect of Hypoxia on Susceptibility of RGC-5 cells to Nitric Oxide.	佐藤孝樹	眼科
IOVS 2010; 51 (6) : 3236-43.	Involvement of P2X7 receptors in the hypoxia-induced death of rat retinal neurons.	杉山哲也	眼科
Acta Ophthalmol 2010;88:723-9.	Use of laser speckle flowgraphy in ocular blood flow research.	杉山哲也	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Redox Rep 2010;15 (6) 250-8.	Regulation of extracellular-superoxide dismutase in rat retina pericytes.	池田恒彦	眼科
Clinical Ophthalmology 2010;4:1441-6.	Transcorneal electrical stimulation increases chorioretinal blood flow in normal human subjects.	栗本拓治	眼科
Arterioscler Thromb Vasc Biol 2011;31 (5) :1041-8.	Tissue Kallikrein Inhibits Retinal Neovascularization via the Cleavage of Vascular Endothelial Growth Factor-165.	池田恒彦	眼科
IOVS 2011;52 (1) :64-9.	Effects of Fasudil, a Rho-Associated Protein Kinase Inhibitor, on Optic Nerve Head Blood Flow in Rabbits.	杉山哲也	眼科
臨眼2010; 64 (4) :428-30.	眼科医にもわかる生理活性物質と眼疾患の基本4 ET-1. 臨眼2010; 64 (4) :428-30.	奥 英弘	眼科
臨床眼科 2010;64 (4) :583-7.	Faden手術を併用した甲状腺眼症による上斜視の1例.	筒泉香君	眼科
日眼会誌 2010;114 (6) :527-33.	突然発症した片眼性短波長感受性錐体障害の1例.	奥野高司	眼科
眼科2010;52 (5) :707-10.	黄斑部からの人工的後部硝子体剥離作成法.	佐藤孝樹	眼科
臨床眼科 2010;64 (7) :1193-6.	自然吸収を認めた落下水晶体の1例.	森下清太	眼科
あたらしい眼科 2010;27 (7) :1004-7.	一過性の視覚障害を軽度中心窩低形成の片側に発症した1例.	奥野高司	眼科
あたらしい眼科 2010;27 (7) :881-7.	複視のプリズム療法.	中村桂子	眼科
眼科2010; 52 (5) :695-700.	黄斑部に病変が認められた先天性サイトメガロウイルス感染症の1例.	寺井朋子	眼科
あたらしい眼科 2010;27 (9) :1279-85.	LSFG-NAVITMを用いた視神経乳頭辺縁部組織血流の領域別評価.	柴田真帆	眼科
眼科手術 2010;23 (3) :439-442.	眼内レンズ毛様溝縫着術後の再発性虹彩捕獲の2例.	箔本潤子	眼科
あたらしい眼科 2010;27 (11) :1617-20.	網膜動脈分枝閉塞症を発症後に血管新生緑内障を併発し予後不良であった眼虚血症候群の1例.	奥野高司	眼科
眼科2010;52 (11) :1709-14.	眼科医を中心とした院内におけるロービジョン外来.	稲泉令巳子	眼科
臨床眼科 2010;64 (12) :1891-5.	セプラフィルムR 併用線維柱帯切除術を施行した1例.	柴田真帆	眼科
あたらしい眼科 2011;28 (2) :267-271.	緑膿菌性角膜潰瘍におけるドリペネム水和物の使用経験.	清水一弘	眼科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
神経眼科2011;28(1):57-64.	高齢者にみられた甲状腺眼症12症例の臨床像.	奥 英弘	眼科
臨床眼科 2011;65(3):363-7.	自己血清点眼が奏効した抗癌薬ティーエスワンRによる角膜障害の2例.	勝村浩三	眼科
眼科手術 2011;24(2):215-8.	虹彩ルベオーシスと前房出血をきたした網膜剥離の1例.	福居 萌	眼科
Acta Oto-laryngologica 130, 286-92	Indication of elective neck dissection for NO carcinoma of the parotid gland : A single insitution's 20-year experience.	Kawata R	耳鼻咽喉科
Otolaryngology-Head and Neck Surgery 142, 148-49	Kinmura's disease of epiglottitis: Resection by a lateral pharyngotomy approach.	Kawata R	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otolaryngol 276, 779-83	Basal cell adenoma of the parotid gland: A clinico-pathological study of 9 cases. basal cell adenoma versus pleomorphic adenoma and Warthin tumor.	Kawata R	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 37, 482-87	Expression of cyclooxygenase-2 and microsomal prostaglandin synthase-1 by head and neck squamous cell carcinoma.	Kawata R	耳鼻咽喉科
Acta Oto-laryngologica 130, 520-4	A novel electroneurography method in facial palsy.	Haginomori S	耳鼻咽喉科
Acta Oto-laryngologica 130, 161-66	Diagnostic criteria of Ultrasonographic examination for lateral node metastasis of papillary thyroid carcinoma.	Lee K	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 37, 694-99	Preliminary study of a challenge test to the patients with Japanese cedar pollinosis using an environmental exposure unit.	Ito K	耳鼻咽喉科
日本臨床	腎癌の分子マーカー	東 治人	泌尿器科
日本腎泌尿器疾患 予防 医学研究会誌	腹腔鏡下前立腺全摘術: “尿失禁軽減のコツ6項目” による術後尿失禁予防の検討	東 治人	泌尿器科
西日本泌尿器科	膀胱癌と核内レセプターの関わり	稲元 輝夫	泌尿器科
大阪医科大学雑誌	オルファン型の核内レセプターをターゲットとした尿路上皮癌の治療	稲元 輝夫	泌尿器科
Int J Oncol.	Novel bladder preservation therapy for locally invasive bladder cancer: combined therapy using balloon-occluded arterial infusion of anticancer agent and hemodialysis with concurrent radiation.	Haruhito Azuma	泌尿器科
The Prostate	Human prostate cancer xenografts in lit/lit mice exhibit reduced growth and androgen-independent progression.	Kiyoshi Takahara	泌尿器科

小計

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Transplantation	Induction of donor-specific tolerance using super-agonistic CD28-antibody in rat renal allografts: regulatory-T cell expansion prior to engraftment may be important	Haruhito Azuma	泌尿器科
World J Urol	Neoadjuvant hormonal therapy does not impact the treatment success of high-intensity focused ultrasound for the treatment of localized prostate cancer.	Yutaka Fujisue	泌尿器科
Asian J Surg.	Clinical Evaluation of Minimum-incision Endoscopic Radical Prostatectomy in Initial 50 Patients	Shuji Hamadaa	泌尿器科
ANTICANCER RESEARCH	Combination Therapy with VP16 and Ethinylestradiol for Hormone-Refractory Prostate Cancer: Good Response with Tolerability.	Haruhito Azuma	泌尿器科
INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY	Utility of the novel bladder preservation therapy, BOA1-CDDP-radiation (OMC-regimen), for elderly patients with invasive bladder cancer	Haruhito Azuma	泌尿器科
泌尿器外科	水酸化アルミニウム・マグネシウム合剤の膀胱内単回注入が奏効した放射線性膀胱炎に起因する膀胱タンポナーデの1例	稲元 輝夫	泌尿器科
泌尿器外科	腎盂尿管癌の治療：補助療法の有用性について	東 治人	泌尿器科
The British Journal of Radiology, 83: 35-39	Reduction of the total injection volume of contrast material with a short injection duration in 64-detector row CT coronary angiography	Fuminari Tatsugami	放射線科
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE, 1: 453-455	Extra-nodal natural killer/T cell lymphoma, nasal-type, treated by concurrent chemoradiotherapy	Nobuhiko Yoshikawa	放射線科
麻酔	胸腔鏡下交感神経切除術における血流量, PI 値および手掌温の変化について	浅野真依子	麻酔科
J Plast Surg Hand Surg.	Study of microvascular structure in keloid and hypertrophic scars: density of microvessels and the efficacy of three-dimensional vascular imaging.	Kurokawa N	形成外科
Ann Plast Surg.	Optimum preservation for autologous cultured dermal substitutes.	Hayama Y	形成外科
Plast Reconstr Surg.	Clinical trial of delay of the venous island flap.	Ueda K	形成外科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Eur J Pain.	5-HT _{2C} receptor agonists attenuate pain-related behaviour in a rat model of trigeminal neuropathic pain.	Nakai K	形成外科
Scand J Plast Reconstr Surg Hand Surg.	Displacement of the bar after minimally-invasive repair of pectus excavatum.	Nuri T	形成外科
Neuroreport.	P2X ₄ receptor expression in a rat model of trigeminal neuropathic pain.	Nakai K	形成外科
日本シミュレーション外科学会誌	paper pattern modelを用いた陰囊部遊離分層植皮術における手術シミュレーション	安藤紗恵	形成外科
形成外科	形成外科の治療指針update 2010 頭頸部疾患 線維性骨異形成症	大場創介	形成外科
形成外科	形成外科の治療指針update 2010 創処置総論 凍傷	大谷一弘	形成外科
リンパ学	リンパ浮腫の外科的治療 リンパ管静脈吻合による浮腫軽減範囲の検討	中井國博	形成外科
日本形成外科学会誌	フルニエ壊疽における深部静脈血栓症の合併についての検討	葉山芳貴	形成外科
日本形成外科学会誌	同種培養真皮を用いた下腿難治性皮膚潰瘍の治療経験	松谷崇弘	形成外科
日本形成外科学会誌	頬部巨大莓状血管腫に両側もやもや病を併発したPHACE症候群の1例	大江恵	形成外科
BULLETIN OF THE OSAKA MEDICAL COLLEGE 57 (1) :49-56, 2011	Bone Changes in the Condylar Head and Mandibular Fossa in Patients with Temporomandibular Disorders— Helical CT Observation —	S. SHIMAHARA	口腔外科
BULLETIN OF THE OSAKA MEDICAL COLLEGE 57 (1) :17-29, 2011	Diagnostic imaging study of the relationship between the mandibular third molar and mandibular canal - Use of Helical Computed Tomography for Multiplanar Reconstruction -	I. SAKINAKA	口腔外科
BULLETIN OF THE OSAKA MEDICAL COLLEGE 56 (2) :65-72, 2010	Delivery of Sodium Borocaptate (BSH) to Oral Cancer by Transferrin-PEG-Liposome, for Boron Neutron Capture Therapy (BNCT)	Y. KIMURA	口腔外科
BULLETIN OF THE OSAKA MEDICAL COLLEGE 56 (2) :73-82, 2010	Bone Reactions around Pure Titanium Implants in Rats Fed Low-calcium Diet	T. FUJIMOTO	口腔外科
Journal of Clinical Rehabilitation	大腿骨近位部骨折に対する術後早期作業療法介入の影響	田中一成	リハビリテーション科
Clinical Rheumatology	Joint mobilization versus self-exercises for limited glenohumeral joint mobility: randomized controlled study of management of rehabilitaion	Kazunari Tanaka (田中一成)	リハビリテーション科

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	大腿骨近位部骨折術後における早期作業療法	田中一成	リハビリテーション科
J Clin Oncol.	Multicenter phase II study of everolimus in patients with previously treated metastatic gastric cancer.	Doi T, Takiuchi. H, et al.	化学療法センター
Jpn J Clin Oncol.	Phase II study of combination chemotherapy with biweekly cetuximab and irinotecan for pre-treated metastatic colorectal cancer harboring wild-type KRAS.	Shitara K, Takiuchi. H, et al.	化学療法センター
Lancet Oncol.	Irinotecan plus S-1 (IRIS) versus fluorouracil and folinic acid plus irinotecan (FOLFIRI) as second-line chemotherapy for metastatic colorectal cancer: a randomised phase 2/3 non-inferiority study (FIRIS study).	Muro K, Takiuchi. H, et al.	化学療法センター
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase II study of chemoradiotherapy with 5-fluorouracil and cisplatin for stage II-III esophageal squamous cell carcinoma: JCOG Trial (JCOG9906)	Kato K, Takiuchi. H, et al.	化学療法センター
Cancer Chemother Pharmacol	A Phase II study of paclitaxel by weekly 1-h infusion for advanced or recurrent esophageal cancer in patients who had previously received platinum-based chemotherapy.	Kato K, Takiuchi. H, et al.	化学療法センター
Jpn J Clin Oncol.	Phase I/II study of capecitabine plus oxaliplatin (XELOX) plus bevacizumab as first-line therapy in Japanese patients with metastatic colorectal cancer.	Doi T, Takiuchi. H, et al.	化学療法センター

小計

7

計

151

etc

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 木下 光雄		
管理担当者氏名	診療情報管理室長 佐浦 隆一 中央放射線部長 鳴海 善文 医療安全対策室長 村尾 仁 病院事務部長代理 木村 正士 医事課長代理 丹羽 俊夫 医薬品安全管理責任者 西原 雅美 医療機器安全管理責任者 岩崎 孝敏	病院薬剤部長 瀧内 比呂也 病院医療相談部長 樋口 和秀 感染対策室長 浮村 聡 総務部長 門田 雅人 庶務課長代理 中谷 尚文	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録		庶務課 医事課 診療情報管理室 中央放射線部 病院薬剤部	年度別に分類している	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課		
	高度の医療の実績	医事課 診療情報管理室		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科及び 病院薬剤部		
	高度の医療の研修の実績	各診療科		
	閲覧実績	医事課 診療情報管理室		
	紹介患者に対する医療提供の実績	各診療科		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び 病院薬剤部		
	項規 第則 第一 第一 号に 条の 掲げ 十一 体第 一 項各 号の 及び 第九 条の 二十 三第 一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全対策室		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全対策室		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全対策室		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院医療相談部及び 医療安全対策室			

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記録 に関する	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	医療安全推進部 病院薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	病院薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	臨床工学室
医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	臨床工学室		
医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	臨床工学室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長代理 木村 正士
閲覧担当者氏名	病院医療相談部 樋口 和秀、診療情報管理室 佐浦 隆一 病院事務部庶務課 中谷 尚文
閲覧の求めに応じる場所	病院医療相談部、診療情報管理室、庶務課

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	46.1 %	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,679人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,992人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	782人	
	D: 初診の患者の数	53,040人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	① 有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 2. 医療に係る安全管理のための委員会および当院の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る従業者等への教育・研修に関する基本方針 4. 本院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 7. 患者からの相談に対する基本方針 8. その他の医療安全推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全の確保と安全の推進に関わる検討課題について審議 2. 事故調査委員会や医療改善委員会の報告を受け検討内容や改善策を検証 3. 重大事故発生時の原因分析、改善策の立案の検証と院内周知 4. 事故防止対策の実施状況の検証と評価 5. 医療安全に関する教育・研修および啓発活動の検証 6. その他の関連事項 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入職者に対する医療安全教育 2. 事例検討会（4回） 3. 特別講演会（4回）・「医療安全としての静脈血栓塞栓症の予防」「臨床倫理の考え方とその検討」「医療の質と安全について小児集中治療の観点から」「内服薬処方せんの記載方法に関する安全対策」 4. リスクマネージャー宿泊研修 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (① 有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事例に応じて、現場の確認と情報収集・分析を行い、再発防止策を共に検討する 2. 患者影響レベル3b以上の全事例、合併症・術後重症合併症に対して、事故調査委員会を開催し院内で事例の事実確認とピアレビューを行う 3. 発生した事故に対する問題点と課題を明確にし、再発防止のための医療改善委員会を立ち上げ、指針やマニュアルの作成や改訂を行う 4. 実施現場でのリスク因子の把握のために、診療科御及び部門リスクマネージャーに聴き取り、現場確認を定期的に行う（週1回） 5. 医療安全対策室と診療や部門との連携強化のためのリスクマネージャー会議の開催 6. ホームページ・ニュースレターを活用した情報発信を行う 7. 緊急時は、院内回覧文書を作成し情報発信を行う 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	① 有 (5 名) ・ 無

(様式第13-2)

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (10) 名 (医療安全推進部)</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 安全に関する報告書からの情報収集と集計及び分析を行い、関連部署に情報提供する。2. 安全対策についての問題点を把握し、改善策の企画立案やその実施状況を評価する。3. 医療の安全管理の体制確保および推進のための課題を検討する。4. 安全対策に関するマニュアル等の具体的な検討及び見直しをする。5. 医療安全に係わる職員への教育・研修を企画・実施する。6. 感染対策室と密接な連携をとり、院内感染防止に努める。7. 医薬品安全管理責任者と密接な連携をとり、医薬品の安全確保に努める。8. 医療機器安全管理責任者と密接な連携をとり、医療機器の安全使用の確保に努める。9. 安全管理委員会及び事故調査委員会等の委員会の庶務を行う。10. 安全に関する報告書からの情報収集と集計及び分析を行い、関連部署に情報提供する。11. 医療事故発生時の現状確認及び現場の支援を行い、医療安全推進部長に速やかに報告する。12. 医療事故発生時の診療録の記載に関する指導助言を行う。13. 医療事故発生時には患者及び家族への説明や対応が適切に実施されるように指導を行う。14. 医療事故に関する原因究明と再発防止への取り組みについて指導を行う。15. 医療安全に係る講演会、事例検討会を企画・開催する。16. 安全対策マニュアル・ポケットマニュアルを改訂する。17. 医療安全対策室からの情報提供 ニュースレターの発行、ホームページの更新18. 院内各部門との連携	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じられる体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大阪医科大学附属病院（以下、「本院」という。）における院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会、その他本院の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 8. 本指針の改廃の手続きについて 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染に関する基本方針および院内感染対策実施に関する事項について審議する。 2. 院内感染発生時または発生が疑われる場合等の対応について審議する 3. 院内感染対策指針および院内感染対策に関する各マニュアル等の制定・改廃の承認について審議する 4. 委員会が報告を受けた感染対策室の業務内容について必要に応じて審議する 5. 委員会が感染対策室より報告を受けた院内感染に関する教育および啓発に関する活動内容について必要に応じて審議する 6. 小委員会の審議内容について必要に応じて審議する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5～6 回
<p>・ 研修の主な内容： 平成23年度内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物学的製剤と結核 生物学的製剤を使用した患者が結核を発症した事例を紹介し、今後の結核対策へと繋がる様な内容となっている 2. 標準予防策シリーズ シーズン3 『スーパーカルズと標準予防策!?!』と題し、標準予防策シリーズの第3弾として、標準予防策を分かりやすく伝えた内容 3. サーベイランスについて サーベイランスと診療報酬、サーベイランスをすることで質の向上へつながること、そのため、今後もサーベイランスを行っていくことなどの内容となっている（今後の開催予定） ○院外講師を招いて開催の予定（平成23年10月27日） ○秋冬に向けた標準予防策について（平成23年11月） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (④ 有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 週1回、院内感染情報レポートを作成し上層部へ発生状況の報告を行う 2. 各種小委員会、担当者会議等、会議を通して発生状況の報告を行う 3. 定期的なサーベイランスおよび病棟巡回を通じて院内感染対策活動の推進と改善とともに、適正な抗菌薬の使用についての介入を実施 4. ICT-Newsを全部署に配布し、院内感染対策の推進を行う 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 60 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に係る職員研修（医療安全推進部主催の事例検討会） 医薬品安全管理に関する事例検討 -ハイリスク薬、持参薬関連のエラーを中心に- ・ がん化学療法に関するレジメン申請・審査・登録の流れ（対象：医師） ・ 妊娠と薬、母乳と薬（対象：看護師） ・ 抗菌薬、抗MRSA薬のTDMについて（対象：看護師） ・ 栄養管理に使用される漢方薬（対象：薬剤師） ・ 輸液に必要な医療材料と手技（対象：薬剤師） 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 ((有) ・ 無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 病棟・各部門への医薬品の供給に関する事項 4. 患者に対する医薬品の使用（処方・調剤・服薬指導など）に関する事項 5. 医薬品情報の収集・管理・提供に関する事項 6. 他施設（病院・薬局等）との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 厚生労働省新着情報配信サービス・医薬品医療機器情報提供HPなどWEBによる情報収集、製薬メーカー・卸などから直接的に情報収集 2. 情報入手当日もしくは翌日の薬剤部内朝礼で情報伝達 3. 緊急性に応じて「薬剤部情報」「緊急薬剤部情報」を作成し院内各部署へ配布 4. 院内版薬剤部HPに新着情報掲載→処方オーダーシステムとのリンク 5. 処方医師に確実に伝達が必要な場合には、処方医リストを作成しDI室から直接処方医、該当する診療科の薬事委員に連絡すると共に、病棟薬剤師が個別に情報伝達 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 約40 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 「MRIでのヒヤリハット、事件事例」 ・ 人工呼吸器関連（使用説明、機器説明など） ・ 輸液・シリンジポンプ関連（トラブル対応など） ・ その他 (記録あり) 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の作成 (有) ・ 無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保守管理機器に対しては、院内定期点検に加え、メーカーによる保守点検を実施する。 ・ 放射線機器、生命維持装置（一部）などに関しては、保守契約を締結し、定期的に適正に点検が実施される ・ 保守契約以外の特定保守管理機器に対しては、点検予定月にメーカーへ依頼し実施 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内だけでなく、他施設で発生した事例に対し、当院においても問題が無いか再確認を行った。また、同様な事例が発生しない様注意喚起文を配布し、再周知を図った。 ・ インターネットや、メール配信を利用し、情報収集を行っている。 	